

## 事業者向け

## 放課後等デイサービス自己評価表

R.7年1月

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5			利用定員に対して十分な指導訓練室を確保している。パーテーション等を通じて、利用児童に合わせた環境を整えている。
	②	職員の配置数は適切であるか	5			充実した療育環境の体制に向けて、専門支援員含めた職員数の増加を予定している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	5			トイレ前がスロープや車いすでも入れる多目的トイレがある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2		業務内容によっては一部の職員で話し合っていることがある為、役割分担を明確にしながらも全体での共有が出来る体制を整備していく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5			R6年4月開所の為、今回初めて保護者からのアンケートを実施した。頂いたご意見を踏まえ、業務改善に繋げていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	5			R6年4月開所の為、今回の公表が初めての対象になる。R7年3月中旬にHPにて更新予定。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	3		相談支援員、市議員等、常に視察に来て頂ける環境を整え、都度ご意見を頂き、改善へつなげている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	2		毎月1回、廿日市事業所と合同でミーティングを行い、そこで研修を兼ねた勉強会を実施している。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5			療育を通して子どもの成長点、課題を日頃から職員で分析・共有している。半年に一度、保護者面談を実施。その他、担当者会議等を通じて、保護者のニーズや子どもの課題を共有している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	2	3		5領域における個別支援計画を作成するにおいて、アセスメントツールを作成し使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	2	3		基本的にはメインの指導者が立案しているが、今後、プログラムに関する振り返りも増やして、職員の意見も反映させながら活動プログラムを立てることで質の高いプログラムにアップデート続けていく。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2		サッカー(スポーツ)活動のみならずイベントも実施しており、固定化しないように工夫している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	2		メニューがマンネリ化しないよう、子ども達の様子や表情も見ながら組み立てるようにしている。また、休日、長期休暇においては、今必要な課題を見出して活動メニューを組み立てるようにしている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1		集団活動をメインとして行っているが、運動能力に応じて個々にメニューを変えたり、また難しさがある子に対しては、分かりやすいように個別対応を行いながら参加できるようにしている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	1		毎朝、情報の共有や対応、対策などの確認している。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	1		次の日に支援の振り返りと今後について共有することを心掛けている。	

	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3	2		必ず、その日のうちに経過記録を残している。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5			更新前に必ずモニタリングを行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	3	2		ガイドラインの総則を組み合わせさせて支援を実施。自立支援と日常生活の充実の為の集団でのスポーツ療育の実施、また創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を組み合わせ、総合支援型の基本活動を通して支援を行っている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	3	2		管理者もしくは児童発達支援管理責任者が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	4	1		利用者の様子や出来事など細かな情報まで共有をしている。学校の先生と支援の統一性を図るよう送迎の際に共有している。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		3	2	現在、医療的ケアが必要のこその受け入れはしていない
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			5	就学前に関しては現在、共有は行っていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			5	障害福祉サービス事業所へ移行した子がまだいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	4		外部講師を呼んでの専門機関と連携した助言や研修機会はないが、今後連携が出来るように体制を整えたい。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	3	現状、交流機会がないため、今後の課題として機会をつくっていききたい。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		2	3	参加出来ていない、今後参加していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	5			療育中の子ども達の様子で変化があった時には良い点も気になった点も送迎の際、もしくは電話をして連絡するようにしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	2	3		保護者会を年に一度開催して、そこでペアトレに近いものを行っている。R7年度は、半年に一度行う予定としている。
保護者への説明	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	1		契約の際には必ず行っている。また、質問があった時にも丁寧に対応している。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5			保護者からの悩み・相談等に対して、対面または電話・LINE等で助言・支援を実施している。

責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	1		保護者会の実施、親子参加でのイベントを通して保護者同士の連携の機会を創出しているが、今後も定期的実施していく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5			子どもや保護者から苦情が出た場合にはまず管理者へ報告し、その後の対応に対して職員間で相談して対応を行う体制をとっている。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	1		会報は発行できていないが、SNSにて定期的に活動の様子を発信している。また、イベント実施時は、活動の様子を視覚的にも個別に共有している。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	5			個人情報の研修を実施しており、鍵付きの書庫を利用して、管理を徹底している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5			絵カード等を用いて意思疎通を実施している。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			5	地域住民を招待するイベントは出来ていないが、今後企画運営をしていきたい。
	非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5		
③⑨		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5			避難訓練を実施しているが、今後は回数を増やしていく。
④⑩		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1		虐待防止委員会を一年に一回開催しており、全体の共有事項を踏まえ、事業所でも研修を実施している。
④⑪		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5			契約時に身体拘束に関する記載がある重要事項説明書について保護者に説明して同意を得ている。基本的には身体拘束を行うことはないが、危険が伴うときには一時的に身体拘束を行う可能性はある。その際には必ず保護者へ連絡を行うよう、指導員間徹底している。
④⑫		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	1	4		基本的に食べ物を提供することはない。イベントで外食体験で食べることはあるが、必ずアレルギー品を表示し、保護者へ確認してもらうようにしている。
④⑬		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	3	2		口頭での事例共有が多いので、事例集にも反映させ、蓄積していく。